

平成28年度事業評価報告書 (施設名 高知県立森林研修センター情報交流館)

項目	評価できる取り組み等	改善すべき課題
1 管理運営に関する評価	限られた職員体制ではあるが、関係団体とも連携を図り、適切な管理運営を実施している。 利用者を含めた避難訓練を実施するなど、昨年出た課題にも真摯に取り組み、改善が図られている。	今後さらに事業の内容を充実させ、利用者を増やしていくためには、人材育成、人的資源の導入が必要である。
2 事業実施に関する評価	体系的な森林環境学習プログラムによる支援を行っている。 プログラム内容が少しずつ改善されており、学生のボランティアだけではなく、大学などの実習・学習の場を提供するという新しいニーズの掘り起こしを行えている。	環境学習に英語を取り入れるなど、主な利用者である小学校のニーズに合わせたさらなるプログラムの強化を期待する。
3 利用実績	1,000人規模のイベント当日の悪天候により大幅な来館者数の落ち込みがあったが、概ね目標どおりの来館者数を維持できている。	
4 収支の状況	概ね予算どおりに執行されており、補助金事業等の外部資金の活用により、経費の節減にも努めている。	概ね適切だが、さらなる経費削減のために、太陽光発電の設置等により電力経費削減のための研究をしてみてもどうか。
総合評価	①限られた職員体制のなかでも、関係団体とも連携を図り、適切な管理運営を実施している。 ②プログラム内容が少しずつ改善されており、学生のボランティアだけではなく、大学などの実習・学習の場を提供するという新しい側面が出てきている。 ③利用者を含めた避難訓練を実施するなど、昨年出た課題にも真摯に取り組み、改善が図られている。 ④外部資金の活用により、経費の節減にも努めている。	
	B	

- 【評価の基準】 A:仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
 B:おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理運営が行われたもの
 C:仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力及び改善が必要なもの
 D:管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの

業務の改善についての意見

改善を求める事項
①今後さらに事業の内容を充実させ、利用者を増やしていくためには、人材育成、人的資源の導入が必要である。 ②収支状況について、概ね適切だが、さらなる経費削減のために、電力経費削減のための研究をしてみてもどうか。
今後、充実させて取り組むべき事項
環境学習に英語を取り入れるなど、主な利用者である小学校のニーズに合わせた、さらなるプログラムの強化。